

日本中東学会ニュースレター

JAMES
NEWSLETTER



No. 173
2024/03/28

目次

理事会報告	2
日本中東学会第 40 回年次大会参加申込み方法および暫定プログラム	2
第 15 回アジア中東学会連合(AFMA)大会参加申し込み方法および暫定プログラム	12
『日本中東学会年報 (AJAMES)』編集委員会報告	16
寄贈図書	17
会員の異動	17
連絡先をご存じないですか	18
事務局より	18

理事会報告

【メール審議（2024年1月1日～2024年3月25日）】

1. 2024年1月16日 新入会員申請について
6名から新入会員申請があり、メールで稟議の結果、1月24日に申請者6名の入会を承認した。
2. 2024年2月9日 新入会員申請について
4名から新入会員申請があり、メールで稟議の結果、2月19日に申請者4名の入会を承認した。
3. 2024年3月5日 新入会員申請について
2名から新入会員申請があり、メールで稟議の結果、3月13日に申請者2名の入会を承認した。

日本中東学会第40回年次大会参加申込み方法および暫定プログラム

日本中東学会第40回年次大会は、2024年5月11日（土）および12日（日）に開催されます。大会1日目に公開講演会と総会を、2日目に個人研究発表・企画セッションを行います。会場は、両日とも東京大学駒場Iキャンパス（東京都目黒区駒場3-8-1）です。大会1日目はハイフレックス方式（対面・オンライン併用）、2日目は対面方式（少数のみオンライン発表対応）を予定しています。なお、新型コロナウイルスの流行など何らかの事情でキャンパスの入構規制が生じた場合には、全面的にオンラインに移行する可能性もありますので、予めご了承願います。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

1. 参加申し込みについて（締切4月26日）
 - 公開講演会（大会1日目）は、どなたでも無料・登録不要で参加できます（オンライン参加の場合に限り、当日までに参加登録をお願いします）

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tZ0sc-GhpzWuG9TsYkhAUrmWM4x8iykrjEgr>



- 個人研究発表・企画セッション（大会2日目）と懇親会（大会1日目）への参加は、4月26日（金）までに事前申込と参加費の事前支払い（銀行振込）が必要です。大会参加費は1,000円、懇親会費は5,000円（学生会員3,000円）です。
- 当日の会場での参加申し込みや大会参加費等の支払いは受け付けません。領収書は当日に受付でお渡しします。

※事前申込フォーム：

<https://forms.gle/fy5MbsKoEsEbDBZq6>



銀行口座：三井住友銀行 渋谷駅前支店（店番号 234）（普）口座番号 5509773

名義：日本中東学会第40回年次大会実行委員会 代表 鈴木 啓之

（ニホンチュウトウガ ヲカダ インジ ヲカネジ タイカイジ ヲコウイノカイ）

*振込手数料は振込者負担でお願いします

2. 発表要旨集のオンライン配布とwifiの利用について

- 第40回年次大会では、印刷した研究発表要旨集や各自の発表資料は会場で配布せず、大会用ポータルサイトにアップロードします。
- 会場では eduroam の利用が可能です。eduroam アカウントをお持ちでない方には、ゲスト用wifiへの接続方法をご案内しますので、受付でお申し出ください。
- パソコンやタブレット等、接続用機器は各自でお持ち込みください（報告用のパソコンは、各教室に設置を予定しています）。

3. 合理的配慮の要望について

- 公開講演会（大会1日目）に参加を予定されている方で、合理的配慮の提供を希望する方は、4月17日（水）までに、大会実行委員会事務局までご連絡ください。

4. 託児所・託児サービス・遊戯ルームについて

- 大会1日目、2日目ともに、託児所の設置と託児サービスへの費用補助を予定しています。

- 大会当日に託児所の利用を希望される方は、**4月17日(水)**までに、大会実行委員会事務局まで必ずご連絡ください。その際に、預けられる予定のお子様の性別・年齢をお知らせ願います。託児所の費用につきましては、託児所会計からの費用を充当する予定ですが、利用者の方に利用時間に応じて多少の費用負担をお願いいたします。
- 託児サービスへの費用補助につきましては、お子様一人につき一人あたり原則5,000円を上限に費用を補助します。ご利用を希望される方は、**5月6日(月)**までに、大会実行委員会事務局宛にご連絡をお願いします。また、大会終了後1週間以内に利用の詳細と利用がわかるもの(領収書など)を事務局までメールにてご送付願います。
- 大会1日目、2日目ともに、就学児向けの遊戯ルームの設置を予定しています。ご利用を希望される方は、当日受付でお申し出ください。

5. 宿泊について

- 渋谷や新宿のほか、吉祥寺(京王井の頭線でキャンパスから25分程度)、山手線各駅などに複数の宿泊施設があります。

6. その他

- 大会2日目の昼食につきましては、カフェヴィゴレ(イタリアントマト)とルヴェソンヴェール駒場がキャンパス内で営業予定ですが、他団体による貸切などの場合は利用ができません。駒場東大前駅周辺の飲食店等もご利用頂き、必要に応じてお弁当を持参されることをお勧めします。

7. 日本中東学会第40回年次大会暫定プログラム(2024年3月13日現在)

日時: 2024年5月11日(土)・12日(日)

5月11日(土): 公開講演会(ハイフレックス)、総会(ハイフレックス)、懇親会

5月12日(日): 研究発表・企画セッション(対面形式[少数のみオンライン発表対応])

会場: 東京大学駒場Iキャンパス(東京都目黒区駒場3-8-1)

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map02_02.html

京王井の頭線「駒場東大前」駅から各会場まで徒歩3~5分

公開講演会・総会：駒場I キャンパス 18 号館ホール

懇親会：駒場I キャンパス生協食堂 2 階

個人研究発表・企画セッション：駒場I キャンパス 5 号館

第 1 日目：2024 年 5 月 11 日（土）

14:00–16:40 公開講演会（*ハイフレックス方式：対面と Zoom の併用）

17:00–17:50 日本中東学会総会（*ハイフレックス方式）

18:00–20:00 懇親会

【公開講演会】

「マイノリティが照らし出す中東世界」

中東地域の的確な理解には、地域のさまざまな民族や宗教が複雑に織りなす多様性の検討が欠かせない。本公開講演会では、中東地域のマイノリティに着目し、通史的・地域横断的な形で人びとが示してきた葛藤や取り組みを論じることで、今後の中東地域のあり方と中東研究のあり得べき方向性を考えていきたい。

全体司会：大塚修（東京大学／大会実行委員）

講演者：宇田川彩（東京理科大学）

「中東から広がるユダヤ世界：南米とのネットワークを中心に」

講演者：三村太郎（東京大学）

「前近代における宗教的マイノリティー一家と科学知：サービト・イブン・クッラとサービー家を中心に」

講演者：浜田華練（東京大学）

「フィクションか、祈りか：中世アルメニア語文学におけるムスリムのキリスト教改宗」

質疑応答・全体討論

討論者：辻明日香（川村学園女子大学）

討論者：山口昭彦（上智大学）

閉会挨拶：高橋英海（東京大学／大会実行委員長）

主催：日本中東学会

共催：東京大学中東地域研究センター（UTCMES）

第2日目：2024年5月12日（日）

09:30–11:50 個人研究発表（*対面方式）

11:50–13:00 昼休憩

13:00–16:10 企画セッション／個人研究発表（*対面方式）

*氏名の右側の（ ）内は所属、Jは大学院生を示す。

【企画セッション】

セッション 1-1 (13:00–14:30)

13:00–14:30（場所：5号館511教室）

“Social Change in the Arab states of the Gulf: New Manifestations, Evolving Dynamics”

Chair: Shuji Hosaka (JIME center, President of JAMES)

Presenter:

Namie Tsujigami (Sophia University), “Adjusting and Adapting to Changes: Changed Lifestyles of Saudi Women”

Sean Foley (Middle Tennessee State University), “Vision 2030 and the Saudi Film Industry”

Matthew Gray (Waseda University), “The Potential for Perfumery Research on the Arab Gulf States”

コメンテーター：なし

セッション 1-2 (13:00–14:30)

13:00–14:30（場所：5号館512教室）

「『スーフィー的なるもの』を問う」

司会：澤井真（天理大学）

発表者：

澤井真（天理大学） 「『スーフィー的なるもの』とは何か」

近藤文哉（上智大学） 「『スーフィー的なるもの』の分析道具としての言説的伝統」

丸山大介（防衛大学校） 「『スーフィー的なるもの』はいかに構築されるのか？：スーフィズム・イスラーム主義・サラフィー主義の三者関係に着目して」

高橋圭（東洋大学） 「スーフィズムからイフサーンへ：アメリカのムスリム社会における『スーフィー的なるもの』」

コメンテーター：なし

セッション 1-3 (13:00-14:30)

13:00-14:30 (場所：5号館 523 教室)

「アラブ世界の非国家主体による疑似国家統治」

司会：青山弘之（東京外国語大学）

発表者：

青山弘之（東京外国語大学）「国家を志向しない統治主体：シリア北西部と北東部の統治の実態」

山岡陽輝（慶應義塾大学 J）「シリアにおける解放党の活動：非国家主体間の関係性を中心に」

小林周（日本エネルギー経済研究所）「リビアにおける「非統治空間」の発生と非国家主体の活動」

コメンテーター：なし

セッション 1-4 (13:00-14:30)

13:00-14:30 (場所：5号館 524 教室)

「デジタル化時代におけるオーラル文化の新発見とその形態：西アジア・イスラーム圏の共時的比較」

司会：中村菜穂（大阪大学）

発表者：

竹田敏之（立命館大学）「アラブ詩の伝統と革新：湾岸諸国におけるオーラル文化の再興」

千葉悠志（公立小松大学）「娯楽、政治、伝統文化：現代のアラビア語の詩番組での邂逅」

ダヌシュマン・イドリス（立命館大学）「宗教詩と音楽の融合：現代トルコにおけるイスラーム聖歌 (ilâhî) の復興をめぐる一考察」

須永恵美子（東京大学）「Zoom を利用した双方向型オンライン詩会の台頭と詩人・聴衆関係の変化」

コメンテーター：黒田彩加（立命館大学）

セッション 2-1 (14:40-16:10)

14:40-16:10 (場所：5号館 523 教室)

「イエメン内戦と中東地域秩序：『国際化した内戦』は何を変えたか」

司会：大坪玲子（東京外国語大学）

発表者：

吉田智聡（防衛省防衛研究所）「フーシー派の政治・軍事能力とその限界」

近藤重人（日本エネルギー経済研究所）「サウディアラビアの対イエメン政策の変化と展望」

佐藤佳奈（日本エネルギー経済研究所）「アラブ首長国連邦（UAE）のイエメン内戦への関与と思惑」

コメンテーター：千坂知世（名古屋商科大学）

セッション 2-2 (14:40-16:10)

14:40-16:10（場所：5号館 524 教室）

「アラビア語学習とアイデンティティ」

司会：山本薫（慶應義塾大学）

発表者：

大俣エヴァ・ハッサン（慶應義塾大学）「複層的なアイデンティティ：アラビア語圏における「アラブ」認識」

ヌール・ムフリホ（慶應義塾大学 J）“Cultural Activities in Second Language Classrooms for Developing the Linguistic Competence”

山本薫（慶應義塾大学）「在日アラブ人子弟を対象としたアラビア語教育の現状と展望」

コメンテーター：鷺見朗子（京都ノートルダム女子大学）

【個人研究発表】

第一部会（場所：5号館 511 教室）

司会：辻上奈美江（上智大学）

1-1) 09:30-10:10 Noor J. E. Abushammalah (Kyushu University, J), “The Privileged Diaspora and their Struggle for Freedom from Without”

1-2) 10:20-11:00 中西萌（京都大学 J）「不確実性が生み出すシリア難民の経済的生存戦略：日本を事例として」

1-3) 11:10-11:50 鈴木慶孝（日本学術振興会）「トルコの多文化共生の実現に向けた課題：移民・難民・マイノリティの包摂を焦点にして」

司会：野口舞子（信州大学）

- 1-6) 14:40-15:20 シェッターデー アキル (慶應義塾大学) 「モロッコ大震災被害に伴う居住地の復興と再建築の課題」 *オンライン発表 (会場配信)

第二部会 (場所: 5号館 512 教室)

司会: 菊地達也 (東京大学)

- 2-1) 09:30-10:10 藤本あずさ (京都大学 J) 「個人型スーフイズムとスピリチュアリティ: トルコ都市部の若年層を対象として」
2-2) 10:20-11:00 棚橋由賀里 (京都大学 J) 「15-16 世紀モロッコのスフィーによる社会改革: タリーカ・ジャズーリーヤを中心に」
2-3) 11:10-11:50 東長靖 (京都大学) 「存在一性論の7次元説」

司会: 守田まどか (東京外国語大学)

- 2-6) 14:40-15:20 小野仁美 (東京大学) 「両性具有者をめぐるイスラーム法学説の形成: ハナフィー派とシャーフィイー派の比較検討」
2-7) 15:30-16:10 水谷周 (日本ムスリム協会)、前野直樹 (日本ムスリム協会) 「イスラームにおける直観」

第三部会 (場所: 5号館 513 教室)

司会: 黛秋津 (東京大学)

- 3-1) 09:30-10:10 竹村和朗 (高千穂大学) 「エジプトの家族と刑法: 婚姻の動産の不正浪費の罪に注目して」
3-2) 10:20-11:00 田辺清鼓 (京都大学 J) 「持続可能な生活基盤を探る: トルコの乾燥農地における水資源管理と女性たちの親密なつながりに関する研究」
3-3) 11:10-11:50 後藤絵美 (東京外国語大学) 「イスラームにおける男女平等論の展開: 国際規範をめぐるムサーワーの思想と戦略」

司会: 村山木乃実 (日本学術振興会)

- 3-4) 13:00-13:40 鎌田由美子 (慶應義塾大学) 「イスラーム美術と近代日本: 明治期以降の画家とコレクターをめぐって」
3-5) 13:50-14:30 小島宏 (早稲田大学) 「コロナ禍中の英国ムスリムの宗教行動変化と健康」
3-6) 14:40-15:20 ソホラブ アフマディヤーン (筑波大学 J) 「在日クルド人のディアスポラ体験に関する質的研究」 (仮題)

第四部会（場所：5号館514教室）

司会：保井啓志（筑波大学）

- 4-1) 09:30-10:10 野中葉（慶應義塾大学）「日本の若者世代のイスラーム教徒：『ヤングムスリム』とその活動に焦点をあてて」
- 4-2) 10:20-11:00 堀抜功二（日本エネルギー経済研究所）「日本における『ドバイ』イメージの形成と流通」
- 4-3) 11:10-11:50 Nicholas Mangialardi (Williams College), “‘Nile Samurai’: Ragai Wanis and Egypt’s Global 1960s”

司会：秋葉淳（東京大学）

- 4-4) 13:00-13:40 森才人（早稲田大学 J）「城塞のなかの都市社会：オスマン朝支配初期カイロにおける軍人層の生活圏（1517-1538）」
- 4-5) 13:50-14:30 澤裕章（東京大学 J）「アラビア医学のペルシア語文化圏における受容と発展：『ホラズムシャーの貯蔵庫』にみる『医学典範』の薬学的影響」
- 4-6) 14:40-15:20 倉野靖之（中央大学 J）「英国統治期パレスチナにおけるアラブ人の政治活動と英国の治安維持政策」
- 4-7) 15:30-16:10 Nami Murata (Tokyo University of Foreign Studies, J), “Dress in National Uniform: the Ottoman Empire’s Adoption of the Wilsonian Principles”

第五部会（場所：5号館521教室）

司会：鶴見太郎（東京大学）

- 5-1) 09:30-10:10 岡部友樹（大阪経済法科大学）「武装組織から政治政党へ：内戦からポスト内戦期レバノンにおける政党の変化」
- 5-2) 10:20-11:00 Alaa Elsharqawy (Cairo University, J), “Japan and the Egyptian/Israeli conflict until 1970”
- 5-3) 11:10-11:50 渡邊文佳（早稲田大学 J）「『アラブの声』で語るモロッコ人活動家：1953-55年のラジオ・カイロとモロッコ独立運動」

司会：柳沢崇文（日本エネルギー経済研究所）

- 5-4) 13:00-13:40 上山一（釧路公立大学）「イスラム銀行利用者の購買意思に影響を与える宗教性に関する実証研究：ヨルダンでの聞き取り調査から」

- 5-5) 13:50-14:30 武石礼司 (東京国際大学) 「中長期経済予測およびシナリオと中東・北アフリカ諸国の政策選択」
- 5-6) 14:40-15:20 上野祥 (創価大学) 「スィーサー政権下エジプトのC型肝炎撲滅政策」
- 5-7) 15:30-16:10 小山友 (千葉大学 J) 「オランダの右派ポピュリズム政党『民主主義フォーラム』におけるムスリム有権者の政治的代表的可能性の検討」

第六部会 (場所：5号館 522 教室)

司会：渡邊祥子 (東京大学)

- 6-1) 09:30-10:10 松田和憲 (京都大学) 「反過激主義と反テロのファトワー：『パキスタン・メッセージ』に着目して」
- 6-2) 10:20-11:00 米田優作 (立命館大学 J) 「現代エジプトにおけるサラフィー主義者のジハード観：ダアワ・サラフィーヤの生存戦略に着目して」
- 6-3) 11:10-11:50 中村覚 (神戸大学) 「サウディアラビアの修正ワッハーブ主義への変容：全方位均衡論による説明」

司会：徳永佳晃 (東京大学)

- 6-4) 13:00-13:40 阿部達也 (上智大学 J) 「北クルディスタンにおけるマドラサ教育活動とクルド人の学問教育伝統」
- 6-5) 13:50-14:30 松永泰行 (東京外国語大学) 「スーフィー・タリーカとイスラーム覚醒・復興：ヘウラマーン/オウラマーナート (クルディスタン) の事例」
- 6-6) 14:40-15:20 岡野内正 (法政大学) 「パレスチナ問題と中東および人類社会の未来：獄中のアブドゥッラー・オジャランのクルド問題解決見通しに照らして」

第七部会 (場所：5号館 523 教室)

司会：渡邊駿 (日本エネルギー経済研究所)

- 7-1) 09:30-10:10 松尾昌樹 (宇都宮大学) 「政治的『石油の呪い』は中東に存在するか：地域間比較と時間に焦点をあてる分析手法の提案」
- 7-2) 10:20-11:00 足立真理 (日本学術振興会) 「インドネシアにおけるザカートに関する Twitter (現 X) 分析：オンライン空間での敬虔さに着目して」

- 7-3) 11:10-11:50 酒井啓子 (千葉大学) 「地域研究と国際関係論の融合を目指す：
中東地域研究からの射程」

第八部会 (場所：5号館524教室)

司会：濱田聖子 (東京大学)

- 8-1) 09:30-10:10 村上武則 (東京外国語大学) 「南部クルド諸語の現在とその位置
付け」
- 8-2) 10:20-11:00 榮谷温子 (慶應義塾大学) 「クルアーンにおける修辞疑問文：特
に hal 疑問文を中心として」
- 8-3) 11:10-11:50 田中悠子 (日本学術振興会) 「イスラーム初期における「論駁」
関係の分析」

8. 大会についての連絡先

日本中東学会第40回年次大会実行委員会事務局

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学中東地域研究センター

電話：03-5465-7724 FAX：03-5454-6441

E-mail：james2024komaba@utcmes.c.u-tokyo.ac.jp

(第40回年次大会実行委員会)

第15回アジア中東学会連合(AFMA)大会参加申し込み方法および暫定プログラム

『日本中東学会ニューズレター』No. 172でお知らせしたとおり、第15回AFMA
(アジア中東学会)大会は、2024年12月7日(土曜日)、8日(日曜日)の日程
で、同志社大学今出川校地(京都市)において開催されます。

つきましては、大会2日目(12月8日)におけるパネル発表と個人研究発表の公
募を、2024年2月20日から5月31日の期間で受け付けます。

パネル発表、個人研究発表ともに、使用言語は英語です。

応募の要領などの詳細は、以下の Call for Papers をご覧ください。

皆様からの多くの応募を期待しております。

Call for Papers for the 15th AFMA Conference
Towards an Optimal Framework for Middle East Studies:
Asian and Middle Eastern Perspectives in an Era of Global Challenges

Date: December 7 (Sat) – 8 (Sun), 2024

Venue: Doshisha University, Imadegawa Campus (Kyoto, Japan)

General call for papers: February 20, 2024 – May 31, 2024

Prospectus

The global community is undergoing profound transformations at different levels. Ongoing wars and conflicts reveal hopes, fears, calculations, and even opportunisms of actors trying to adjust themselves to the emerging situations. Asia and the Middle East are no exceptions. For Asian countries whose economies have depended heavily on fossil fuels from the Middle East, not only the (hopefully) short-term energy crisis triggered by the war in Ukraine but also the global trend for de-fossilization are posing new challenges. The need for renewed engagements with the Middle East in ways that go beyond ones defined by economic concerns is acutely felt. The ongoing critical situation that originated in Palestine and has quickly involved the entire region only reinforces this observation.

How can Asian countries, as equal partners, contribute to the reconfiguration of political, economic, and social systems in the Middle East that have been based on and shaped by the existence of fossil fuels in the region? After half a century since the 1973 OPEC oil crisis, “Asia” is urged to explore ways to revamp and enhance its relations with the Middle East. In the meantime, and all these said, the economic importance of the Middle East is expected to remain unchanged even in the era of net zero emissions, given its edge in areas such as the production of hydrogen and ammonium.

All these require renewed Asian perceptions of the Middle East and upgraded Middle East studies that underpin them. The 15th AFMA Conference aims to serve as a forum for all the participants from Asia, the Middle East, and other regions to achieve this goal. The Organizing Committee firmly believes that constructive perceptions of the Middle East and new Middle East studies can only be achieved by incorporating the voices from the region itself and of the interested parties beyond the two regions. Therefore, not only the members of the four Asian Middle East studies associations constituting AFMA but also scholars based in the Middle East and other regions are encouraged to submit panel and paper proposals.

Thematic Axes of the Conference

Panel and paper proposals in line with, but not limited to, the following thematic axes are welcomed.

- Politics and society in the Middle East
- Religious and intellectual lives in the Middle East
- Society and environment in the Middle East
- Historical experiences of the Middle East seen from Asian perspectives
- Changing energy situation in the world and the future of the Middle East
- Economic relationships between Asian and Middle Eastern countries
- Middle East diplomacies of the Asian countries and Asian diplomacies of the Middle Eastern countries
- Cultural interactions between Asia and the Middle East
- Middle East studies in Asia: The past, present, and the future
- Middle East studies in the West and Middle East studies in Asia

Submission Guidelines

Please keep in mind the following guidelines for submitting papers to the conference:

- i. A pre-arranged panel should be composed of 3–4 presentations or 3 presentations and a comment.
- ii. A panel proposal should include a panel abstract (within 300 words) and the abstracts of all the prospective presentations therein (within 300 words each; excluding the comment). All the abstracts must be anonymized. The names and affiliations of all the panel participants as well as the contact address of the panel organizer should be provided in a separate document.
- iii. A paper proposal must be anonymized and not exceed 300 words. The presenter's name and affiliation should be provided in a separate document.
- iv. The submission deadline is May 31, 2024. The acceptance decision is scheduled to be announced to the panel organizers and proposers of individual papers by June 30, 2024. All abstracts and presentations must be in English.
- v. All submissions are made as PDF files and sent as attached to emails to the Organizing Committee at the address <afma2024@mail.doshisha.ac.jp>. A submission confirmation email

will be sent to the submitter within one week.

The Organizing Committee will decide the fees by April 15, 2024 (Mon) and announce it at the following link.

→ AFMA2024 Guides and Documents

<<https://www.dropbox.com/scl/fo/s113d5b5w7k5v8dyq9iay/h?rlkey=5t8nqp8weocj9cl3ix1uq7w11&dl=0>>

About AFMA

The Asian Federation of Middle East Studies Associations (AFMA) is the only permanent platform in Asia for international research exchanges in Middle East studies. It was established in 1995 by three Middle East Studies associations in the region, namely, CAMES (China), JAMES (Japan), and KAMES (Korea), and joined later by MAMES (Mongolia) in 2003. AFMA has held fourteen biennial conferences to date.

Member Associations:

Chinese Association for Middle East Studies (CAMES)

Japan Association for Middle East Studies (JAMES)

Korean Association of Middle East Studies (KAMES)

Mongolian Association of Middle East Studies (MAMES)

Contact

The Organizing Committee of the AFMA 15th Conference

Address: c/o Professor MORIYAMA Teruaki, Center for Interdisciplinary Study of Monotheistic Religions (CISMOR), Doshisha University (Kyoto, Japan)

E-mail address: afma2024@mail.doshisha.ac.jp

(Secondary e-mail address to be used in case of any difficulty with the primary address:

afmadk2024@gmail.com)

(第 15 回 AFMA 大会実行委員会)

『日本中東学会年報 (AJAMES)』編集委員会報告

1. 39-2号は本年1月末に刊行され、すでに皆様のお手元に届いているものと存じます。
2. 40-1号は今夏の刊行を目指して、現在編集作業中です。
3. 40-2号の投稿締め切りは2024年6月1日(土)です。「論文」以外にも「研究ノート」、「書評」、「書評論文」、「資料紹介」、「研究動向」等さまざまなジャンルがありますので、みなさまの多様な研究成果をぜひ御投稿ください。もし書きかけになっている(眠ったままになっている)御論考などがございましたら、ぜひともこの機会に仕上げ御投稿くだされば幸いです。

例年どおり、欧文特集企画も募集しておりますので、企画をお持ちの方は、直接御投稿いただくか、編集長まで御相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、投稿規程・原稿執筆要領の最新版は、AJAMES最新号のほか、学会サイトにも掲載されておりますので、それらを御参照ください。

4. 博士論文要旨(英語)について
AJAMESでは、会員による中東関連の博士論文要旨(英文)を掲載しています。とくに締切を設けておりませんので、最近博士論文を提出された会員の方は、ぜひ御投稿ください。
5. AJAMESのバックナンバーは、科学技術振興機構の電子ジャーナルの無料公開システムJ-Stage上で公開しています。刊行後、1年を経た論文はこちらで閲覧できますので、ご活用ください。<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ajames/-char/ja>

本誌に関するお問い合わせ先、原稿投稿先は以下のとおりです。

〒562-8678 大阪府箕面市船場東3-5-10

大阪大学 箕面キャンパス 外国学研究講義棟 841号室 福田義昭研究室気付

『日本中東学会年報』編集委員会

E-mail: ajames-editor@james1985.org

寄贈図書

【単行本】

今井宏平、岩坂将充『エルドアン時代のトルコ——内政と外交の政治力学』岩波書店、2023年

宮本雅行『中級アラビア語読本——新聞の特集記事を読む』鳥影社、2023年

北川毅『国王陛下の鍼灸師』株式会社G.B.、2024年

須永恵美子、熊倉和歌子編著『イスラーム・デジタル人文学』人文書院、2024年

長沢栄治監修、嶺崎寛子編著『日本に暮らすムスリム』（イスラーム・ジェンダー・スタディーズ7）、明石書店、2024年

原隆一、南里浩子編『大野盛雄 フィールドワークの軌跡V——トルコ・アナトリア高原の地方町カマン日誌1992～2000年』大東文化大学東洋研究所・西アジア地域における伝統と変容研究班、2024年

【逐次刊行物・ジャーナル・その他】

『季刊アラブ』No.186、日本アラブ協会、2024年1月

『Danah』No.245、日本クウェイト協会、2024年2月

(小澤一郎 事務局長)

会員の異動

【新入会員】

大隼 エヴァ・ハッサン

佐藤 美子

田中 悠子

田辺 清鼓

富澤 規子

永田 正樹

宮城 蓮

吉田 幸平

楊 田再傑

Ahmadian Sohrab

Leila Chamankhah

Nour Muflih

【所属先変更】

辻 大地

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

廣田 元

カタール航空

(小澤一郎 事務局長)

連絡先をご存じないですか

下記の会員の方々は、連絡先が不明なため、学会からのお知らせなどをお届けすることができないでおります。連絡先をご存じの方は、学会事務局までご連絡いただけますよう、ご面倒でもご本人にお伝えいただければ幸いです。

アブドリ・ケイワン イブラヒム・ワリード・ファルーク 北川 明
後藤 信介 住吉 大樹 高安 海翔 ターリク フセイン ハカミー
築地 孝治 苗村 卓哉 ナスル・ゴラムレザ 西川 優花 西舘 康平
ババアリ 梓晴 林田 花枝 平川 大地 ファトヒー モハンマド
藤井 菜津子 三橋 咲歩 モハメド オマル アブディン 矢倉 美砂子
ヤズィード・ナーセル 横田 吉昭 吉田 智聡 Abuhajir Rehab A.
Abhu-Hajjar Iyas Salim Hosnieh Elham Layla Saleh Mohamad Haidar Reda
Teeba M. Mohammed Abdulati

(小澤一郎 事務局長)

事務局より

立命館大学で事務局をお引き受けしてから、早くも1年が経とうとしております。この間、新型コロナウイルスの影響も次第に弱まり、社会の雰囲気もコロナ禍前に戻りつつあるように思われます。昨年5月の第39回年次大会も、ハイフレックス形式ながら対面に重きを置いた形で開催することができました。本年5月11日・12日には、記念すべき第40回大会が東京大学駒場キャンパスで、前回大会とほぼ同様の形式で開催される予定です。皆様に会場にてお目にかかることを楽しみにしております。

(小澤一郎 事務局長)

日本中東学会ニューズレター 第173号

発行日 2024年3月28日

発行所 日本中東学会事務局

日本中東学会事務局

〒603-8577

京都府京都市北区等持院北町56-1

立命館大学文学部 小澤一郎研究室内

E-mail: james@james1985.org

<https://www.james1985.org/>

郵便振替口座：00140-0-161096

(日本中東学会)

ゆうちょ銀行口座：〇一九店(当) 0161096

(ニホンチュウトウガッカイ)